

公益社団法人 地盤工学会関東支部



# Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

## 副支部長の就任にあたって

関東支部副支部長 浅香 美治  
(清水建設(株)技術研究所 建設基盤技術センター長)

昨年4月より3年の任期で関東支部副支部長を拝命いたしました浅香美治（あさか よしはる）と申します。よろしくお願いいたします。

大学の研究室に所属した時から今まで、建築系の地盤工学分野の研究開発に携わって参りました。地盤工学分野を選んだ直接的なきっかけは、学部3年生の研究室選びのときに起きた1995年兵庫県南部地震です。ポートアイランドや六甲アイランドをはじめとする埋立地において、大規模な液状化・側方流動が発生し、建築物や土木構造物に大きな被害をもたらしました。このような地盤に起因する構造物被害を無くしたいという想いから、建築学科でありながら地盤工学分野の研究室を選び、今に至っております。



近年、気候変動などに起因して、自然災害が激甚化・頻発化していることが指摘されています（例えば、内閣府令和5年版 防災白書）。また、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震の切迫性が高まっています。台風や大雨では、洪水や土砂災害が発生します。大地震時は、地震動による構造物被害、液状化、津波、火災などが発生します。これらの自然災害により、特に人口が集中する関東エリアでは、多くの人的被害や構造物被害が生じる可能性があります。これらの被害を軽減・回避するためには、地盤工学分野、ひいては地盤工学会関東支部の貢献が欠かせません。

人間の活動は、すべて地盤の上で行われています。したがって、土質力学・地盤工学は、人間の活動に欠かせない学問であり技術です。社会基盤整備の一翼を担う学会組織として、設立から今年で20周年を迎える地盤工学会関東支部が、今まで以上に活動の幅を広げ、世の中から必要とされる存在となるよう、微力ではありますが尽力して参りたいと存じます。

今後とも、地盤工学会関東支部の活動に、ご支援ご助力を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 特別講演会「盛土規制法の施行について」

関東支部

副幹事長 金田 一広(千葉工業大学)

地盤工学会関東支部では毎年、関東支部総会に合わせて特別講演会を実施している。令和6年度は特別講演会「盛土規制法の施行について」と題して当時国土交通省大臣官房参事官 吉田信博氏（現 静岡市副市長）を講師として令和6年4月24日水曜日16時30分から17時30分まで地盤工学会地下会議室と zoom ウェビナー併用の講演会として実施した。地盤工学会会議室で49名、オンラインで197名の参加があった。

通称「盛土規制法」が令和5年5月26日から施工された。同氏はこの法律立案に対して地盤工学の見地から中心的な役割を担われ、講演会では地盤工学的な問題点、課題点さらに規制のポイントなど地盤工学技術者に非常に有益な内容のご講演をしていただいた。盛土規制法はとてもホットな話題であったため、まだコロナ禍の影響で会議室の人数が規制されている中でも多くの方に対面での参加いただいた。オンラインでも会員・非会員問わず多くの方に聴講いただいた。内容の質問は時間の関係上、会場のみとなったが、許される時間いっぱいにおいて活発な議論が行われた。

多くの災害が発生している近年では、今後地盤工学者と行政とのつながり、協調が進んでいかなければならない。盛土規制法の継続に当たって地盤品質判定士への大きな期待も講演では語られた。行政民間一体となった盛土の規制、さらに今度発生する地震や豪雨など災害に対して、減災・防災対策が今後展開されていくと感じている。

今回はオンラインを併用して開催したが、参加費は無料であったため日本全国から多くのかたに参加いただいた。引き続き、対面、オンラインあるいはハイブリッドによる講演会の開催など模索し、地盤工学会の会員のニーズにこたえられるような企画を順次実施していきたいと考えている。引き続き地盤工学会関東支部の活動にご協力いただきたい。



写真-1 吉田信博氏のご講演の様子



写真-2 質疑応答の様子

## 「ジオ散歩～生田緑地の自然と川崎の自然を巡る～」開催報告

関東支部 会員サービスグループ  
幹事 内田 翔太 ((株) 不動テトラ)

会員サービスグループでは、歩きながら、見て、知って、学ぶ企画「ジオ散歩」を開催しています。第5回となる今回は、去る2024年6月1日に「ジオ散歩～生田緑地～」と題し川崎市多摩区の生田緑地をフィールドとして開催しました。前日まで天気は予断を許しませんでしたでしたが当日は好天に恵まれ、8名の参加者とグループ幹事6名に加え箱根ジオパークの笠間様を講師にお招きし、計15名で生田緑地の地層露頭の観察を行いました。観察に当たっては笠間様より一般的な地質に関する説明に加え生田緑地の地層の成り立ちや特徴、観察のポイント等を黒板も交えて大変丁寧にご説明いただきました。

今回は、生田緑地で発行されているマップを基に地層露頭が観察できるコースを設定しました。生田緑地では、火山噴火や海面の上昇や低下などにより形成された地層露頭が観察できます。具体的には約130万年前に海底に堆積した上総層群飯室層、約30万年前に河口や浅海域に堆積した相模層群おし沼砂礫層や多摩ローム層が確認でき、地層が形成される過程について知ることができました。また、地層内の生痕化石（地層が形成された時代に生物が棲息していた痕跡）や地層の不整合（地層と地層の間における長い空白期間、ここでは飯室層の上におし沼砂礫層が堆積した場所がある）も観察することができました。散策では生田緑地の自然や緑地内の展望台からの景色も望むことができた他、緑地内にあるかわさき宙と緑の科学館にて地層タワーやボーリングコアの観察により地層についての理解を深めることができました。

散歩を終え、参加者の方々からは、「露頭の見方について参考になった」、「東京の地盤や地層の成り立ちについて理解が深まった」、「起源などの説明が加わることでより一層の興味が湧いた」などの声が寄せられました。多くの皆様にご協力をいただくと共に、特に箱根ジオパークの笠間様には事前の下見や当日の講義などの多大なご協力により充実した内容とすることができました。紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。



写真-1 榊形山での露頭観察



写真-2 集合写真

## 出前講座：関東地方整備局 開催報告

関東支部 支部長 東畑郁生

この出前講座 7月12日に、国交省の関東地方整備局で勤務する若手の方々の研修の一環という趣旨で開催した。場所はさいたま合同庁舎 2号館 5階会議室、参加者は95人、講師と演題は、前半が支部長東畑郁生の「時代の変化について」、後半は東野圭悟氏（中央開発）による「土木技術者として必要な地盤に関する知識」であった。前半では初めに、公務員という職業を単に「重要ですよ」と述べ立ててみても良い講演にはならないので、参加者の方々のこれからの人生で、必ず東南海や南海地震が起こること、そのときに土木技術者として、さらにはパブリックセクターとして、被災自治体や被災者自身から迅速な非常時対応を求められるに違いないことを指摘した。幸い参加者の方々は行政の仕組みと建設事業の実際の両方を毎日体験できる立場にある。経験と知識を積み重ねることによって、将来必ず遭遇するカタストロフィーへの対応力を形成していただきたい、必ずその日が来ますよ、と話した。

次に、世の中では二律背反で苦しむことが少なくない、その時どうすればよいのか、もちろん技術者倫理に従って決断するべきだが、この技術者倫理というものがきれいごとだらけで困った時の役に立たない、という話題に移った。事例として1963年に北イタリアで発生したヴァイオント Vajont ダム（アーチダム）建設の事故を挙げた。この工事は戦後のイタリアの復興に必要な電力を供給するプロジェクトで、国民的期待を集めていた。主任技術者はダム建設の権威で、この事業を最後に引退するつもりであった。長年の経験に基づくカンで、彼はこのダムサイトの斜面が危ないと気が付いた。実際、建設中に小規模な斜面崩落が相次ぎ、彼の不安は膨らむ一方であった。最終的には湛水時に斜面が2.4億立方メートルの大崩落を起こし、誘起された津波がダムを越波して下流の集落を破壊、犠牲者2125人を出したのだが、当時の地盤調査技術では、深さ200メートル以下にあるすべり面の強度を評価することはできなかった。しっかりした根拠もないのにカンでモノを言うな、任せられた仕事はしっかりやり遂げる、というのが技術者倫理の要求である。工事の道を進むも地獄、退くも地獄で、苦しんだ主任技術者は脳内出血で工事完成を見ることなく世を去った。プロジェクトは後任の手で進められ、破局に至った。

彼はどうすればよかったのか？私がたどり着いた解答は、「社長にすべて打ち明けて後を任せ、自分は辞職する」という無責任なものである。卑怯でもあるが、一つだけ良いことを含んでおり、それは悩みを自分一人で抱え込まず、人に相談することである。当日の参加者の人生でも二律背反で苦しむことが必ずあり、その時役に立つ知恵であろうと思っている。他に地盤材料の劣化とインフラの崩壊についても話したが、ここでは触れるスペースが無い。

東野氏の話は自身の体験に基づく苦勞談、失敗談で、内容をここで公にすることはできない。要は、地盤の調査を軽視して不均質かつ不可視の地盤に足元をすくわれる事例が少なくないことで（地質リスク）、たとえば柱状改良体を法面下に施工したところ、固化が不十分な化学的環境があり、強度不足の柱状体が折れて斜面がすべった、という例が紹介された。地盤の専門家に向かって「あんたらプロなんだから調査しなくても危険は察知できろよ」という発言がときどきあるが、胃の手術のプロを自任する医師が「あなたの顔色を見ただけで胃に問題があることがわかる、すぐ手術しましょう、検査費用を払わなくて済みますよ」と言ったら、あなたは応じますか、きちんと検査して手術を計画する医師に胃を切ってもらいたいでしょ、ということである。犯罪捜査もプロならきちんと証拠を集めて立件する、思い込みで逮捕して後は拷問で自白させるなど通用しない。地盤調査も同じで、超重要である。



写真-1 東畑支部長の講義



写真-2 講義風景



写真-3 東野氏の講義

## 第5回若手技術者を対象とした意見交換セミナー

関東支部 企画総務グループ・会員サービスグループ

「若手技術者を対象とした意見交換セミナー」WG

委員 窪田 上太郎(川崎地質(株))

委員 齋藤 日向子((国研)日本原子力研究開発機構)

第5回若手技術者を対象とした意見交換セミナーが、令和6年8月30日(金)に、東京大学生産技術研究所駒場リサーチキャンパスにて開催されました。

本セミナーは、“若手技術者同士の人脈形成は、自己の仕事に関する質を高めるとともに、経験の蓄積を行う上での何よりの糧になる”という先輩技術者の経験をもとに企画され、平成30年、令和元年、令和4年、令和5年に引続き5回目の開催となりました。

### 【セミナーの概要】

- ・ 主題 : 地盤工学に関する業界の人脈構築ならびに技術向上
- ・ 開催日時: 2024年8月30日(金) 10:00~18:30
- ・ 参加人数: 参加者16名、幹事・委員9名、役員・顧問6名、事務局1名の総勢32名

当日は、はじめに役員・顧問、幹事・委員を交えた参加者全員で、スライドを用いて自己紹介を実施しました。自己紹介では、経歴や地盤工学との出会い、趣味等を共有する中で、参加者全員の人となりや相互に認識することができました。その後、キャンパス1階のレストランapeに移動し、ランチミーティングを実施しました。ここでは自己紹介の内容を深掘りしながら、和やかな雰囲気の中でコミュニケーションを図ることができました。

午後からは、参加された若手技術者より、各自が携わってきた研究や業務について、スライドを用いて紹介いただきました。発表内容は、地盤調査や探査、設計・解析、トンネル工事や地盤改良工事、DXや研究開発など、地盤分野の中でも多岐に渡り、若手技術者同士、官・民・学のそれぞれの業務を知る機会となりました。また、参加者同士の活発な質疑応答や顧問の先生方からの建設的な質問・助言により、より一層意義のある時間となりました。

発表の後は、意見交換会と懇親会を実施し、お酒を片手に交流を深める場となりました。幹事・委員の中には、前年に若手技術者として参加していたメンバーも多くおり、継続的な交流を図る場としても有効であったと感じます。当日の様子は、動画にまとめておりますので、ぜひご参照下さい。

(URL: <https://youtu.be/MNx-BC5xEC8>)

最後になりますが、お忙しい中ご参加いただいた顧問の先生方、事前準備から当日の運営まで多くのご協力をいただいた幹事・委員・事務局の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



写真-1 発表風景



写真-2 集合写真



写真-3 ランチミーティング

## 2024 年度地盤工学会関東支部賞候補募集要項

公益社団法人 地盤工学会関東支部

地盤工学会関東支部では、「地盤工学会関東支部技術賞」「地盤工学会関東支部功績賞」および「関東支部発表会優秀発表賞」の3つの賞を設け表彰する事により、その業績を讃え、合わせて関東支部活動の活性化を目指しております。このうち、「地盤工学会関東支部技術賞」と「地盤工学会関東支部功績賞」の候補者の募集を行います。これらの賞は、支部会員の地盤工学的観点から優れた工事の業績、技術の開発と実用化、創造性等に優れた学術成果、地盤工学関係技術者の育成や技術力向上、学会のPRなどへの業績や社会的地位向上に貢献を行った活動に対し表彰し、その成果を讃えるものです。以下の募集要項に基づき、奮ってご応募頂きますようお願い申し上げます。なお、「関東支部発表会優秀発表賞」については、関東支部発表会実行委員会の規程に基づき、別途表彰を行います。

**受賞対象：**関東地域に関係する次のいずれかに該当する業績を対象として、個人（複数可）または団体に授与する。

但し、関東支部あるいは地盤工学会の他支部において表彰を受けた業績については応募することはできない。

関東支部賞の2つ以上の分野に同時に同じ（もしくは同等と判断される）業績で応募することはできない。

### **地盤工学会関東支部技術賞：**

- ①地盤工学的観点から優れた工事の計画、調査、設計、施工、計測および維持管理等に  
関する業績等
- ②活用性、汎用性に優れた技術の開発および実用化等
- ③創造性、特殊性を有する学術的に優れた研究論文および研究報告等

### **地盤工学会関東支部功績賞：**

- ①地盤工学関係技術者の育成および技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績  
等
- ②地盤工学のPRおよび社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等
- ③地盤工学会会員として関東支部の活動に永年従事し、顕著な貢献をしたと認められる  
業績等

**対象者資格：**受賞対象者の資格は、特に設けない。ただし、地盤工学会関東支部功績賞の③については、支部会員（正会員、特別会員）、および支部会員を代表とする機関あるいはグループとする。ここで、支部会員を代表とする機関とは支部会員が代表を務める機関とする。また、特別会員は特別会員である機関の下部機関についても応募対象者とする。なお、特別会員に属する非会員の個人を代表とするグループについては応募対象者とししない。さらに、ここでの会員とは応募時点において会員であり、かつ推薦締切日において引き続き会員であるものとする。

**応募の形式：**推薦とします。自薦・他薦を問いませんが、推薦者は関東支部の正会員（関東支部表彰委員を除く）、または特別会員であること。ただし、関東支部が主催する委員会活動および行事などは応募の対象外です。

審 査：地盤工学会関東支部の表彰委員会により審査を実施し、受賞者を決定します。必要に応じてヒアリングを実施いたします。

発 表：受賞決定の場合には、直接該当者に通知します。

表 彰：2025年4月の関東支部通常総会において行い、受賞者には賞状・副賞を贈ります。

推 薦 受 付：2024年9月6日（金）より2024年11月22日（金）まで。郵送の場合、当日消印のあるものを有効とします。

提 出 先：封筒の表に、「地盤工学会関東支部賞○○○○○賞候補推薦」と記入のうえ、下記へ直接持参するか、あるいは書留で郵送してください。

〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2JGS 会館内

公益社団法人 地盤工学会関東支部

電話 03-3946-8670 E-mail : jgskantou@jiban.or.jp

※ 推薦書は地盤工学会関東支部の website よりダウンロードください。

<https://jibankantou.jp/event/2024kantouaward.html>

(提出資料)

1.推薦書 ..... 1部

2.業績を示す資料（該当する業績ごとに以下に示す資料） .....10部

地盤工学会関東支部技術賞①、②：該当業績を記した論文または業績の内容が分かる説明資料やパンフレット

地盤工学会関東支部技術賞③：当該研究論文もしくは研究報告、1編

地盤工学会関東支部功績賞①、②：業績リスト（出典明示）と代表的資料のコピー3編

地盤工学会関東支部功績賞③：地盤工学会における活動履歴と業績リスト（出典明示）

【行事報告】

日程	行事名称	場所
2024.04.12	後援行事：土木学会エネルギー委員会「1F事故後の汚染拡大防止策等に係る報告書公開と講演会」	土木学会講堂とオンライン併用
2024.04.24	特別講演会「盛土規制法の施行について」	JGS 会館とオンライン併用
2024.05.15 2024.05.22	共催行事：(一財)土木研究センター・(一社)地域国土強靱化研究所「第4回技術者講座」	オンライン
2024.06.01	会員サービスグループ「ジオ散歩～生田緑地の自然と川崎の地層を巡る～」	神奈川県川崎市
2024.06.07	後援行事：(一財)災害科学研究所「インフラ分野のデジタルツイン」講演会	オンライン
2024.07.03	共催行事：(一社)地域国土強靱化研究所「創設4周年記念フォーラム」	オンライン
2024.07.12	出前講座：国土交通省関東地方整備局	関東地方整備局
2024.08.30	企画総務・会員サービスグループ：第5回若手技術者を対象とした意見交換セミナー	東京大学生産技術研究所

ゴシックの行事報告を本号でご紹介しています。また、これまでの行事報告については関東支部のホームページでご覧ください。

【行事予定】

日程	行事名称	場所
2024.10.24	特別講演会「利根川における治水対策と堤防事業について」	JGS 会館とオンライン併用
2024.11.08	会員サービスグループ「ジオテク語り部会」	JGS 会館とオンライン併用
2024.11.22	第21回関東支部発表会(GeoKanto2024)	国立オリンピック記念青少年総合センター
2024.11.29	群馬県グループ「盛土規制法」施工に係る講習会	ぐんま男女共同参画センター
2024.12.03	特別講演会「気象変動の激甚化と高速道路の災害について」	JGS 会館とオンライン併用
2024.12.06	「無機・有機系改質材による発生土の改質とその利活用の普及・高度化の取り組みに関するシンポジウム」	JGS 会館
2024.12.11	共催:(一社)全国地質調査業協会連合会 傾斜センサーによる斜面監視モニタリングのマーケット開拓コンソーシアム「傾斜センサーによる斜面監視モニタリングのマーケット開拓 活動報告・発表会」	オンライン
2024.12.14	会員サービスグループ「ソイルストラクチャーコンテスト」	日本大学理工学部船橋キャンパス

行事予定の最新情報については関東支部のホームページでご確認ください。

関東支部では、メーリングリストにご登録頂いた会員の皆様に行事案内を随時お知らせしております。

登録をご希望の方はお名前、会員番号、メールアドレスを明記の上、

E-mail : kantouevent@jiban.or.jp または FAX : 03-3946-8699 までお申し込み下さい。

(喜多川 俊介：企画総務グループ 幹事)

発行 公益社団法人 地盤工学会関東支部 〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号 JGS 会館内 TEL 03-3946-8670 E-mail : jgskantou@jiban.or.jp URL: <a href="https://jibankantou.jp">https://jibankantou.jp</a>
---